



# 平安

あったかハートで Hev!安心!!

7月号

## 夏が来れば思い出す

副校長 高橋 雄一

「梅雨に入り、雨の降る日も多くなっています。」これは、昨年度の学校だよりの冒頭の文です。例年ですと7月の学校だよりをお届けする頃は、梅雨真ただ中で、雨の日がずっと続いていたなあと思います。しかし、今年度に関してはもう梅雨が明けてしまいました。

梅雨が明けて気温が上がり、蝉が鳴き出すといよいよ夏がきたなと感じます。夏が来ると思い出されるのが、子どもの頃、蝉の幼虫を取りに行ったことです。セミの抜け殻はよく見かけるのですが、実際に動いているのはそんなに見ることはありません。それもそのはず、幼虫は夕方にならないと姿を現しません。

夕方になり、気温が下がり、少し暗くなってくると地面にアリの巣くらいの小さな穴を見つけることができます。5cmくらいの長さの小さな木の枝で、その穴を少し広げます。一気に開けようとする穴が崩れてしまうので、少しずつそおっと穴を広げていきます。小指の先が入るくらい大きさに広がったら、木の枝を穴に立てかけてみます。蝉の幼虫がいたら、その時木の枝が動きます。あとは、蝉の幼虫が枝に捕まったのを確認したら、ゆっくりと木の枝を引っ張ると、幼虫を捕まえることができます。



捕まえた幼虫は、家に持ち帰り、網戸につけておくと夜の8時くらいに動きがぴたりと止まります。それからゆっくりゆっくり幼虫の背中が割れて、そこから白色の蝉が出てきます。全部出てくると抜け殻につかまって朝までじっとしています。その様子を見て、なんで抜け殻は蝉がつかまっていて重いはずなのに、網戸から落ちないのかな？今は白い色をしているのに朝には茶色の蝉になるのはなぜだろう？いろいろな事が不思議でした。そして、蝉の羽化を不思議だなんて思って眺めるのが夏の楽しみでもありました。

6月の梅雨明けというのは観測史上初だそうです。あまりにも早く梅雨があけてしまったため、いろんなことが、まだ夏になる準備ができていないように思います。日中の気温が30度を超えているのに、まだ蝉が鳴いていません。子どもの頃見た蝉の羽化が今年もしっかり行われるのだろうか？等少し心配になります。

今年は、かなり早い夏の訪れとなりますが、夏に向けて身体の準備はしっかり整えたいと思います。先日学校保健委員会でも出ていましたが、「早寝、早起き、朝ごはん」がまずは大切です。「早寝、早起き、朝ごはん」を毎日続けることによって、少し早めに来る今年の夏を楽しく元気に過ごしていきたいと思います。